

# とくしまマラソン 「医療・救護」マニュアル①

## 救護共通事項



## ●目次

P 1・・・大会冊子(抜粋)

P 1 0・・・交通規制図

P 1 2・・・コース図(傷病者数記載)

P 1 3・・・救急対応医療機関・診療医療機関

P 1 4・・・救護部運営体制・連絡体制等

P 1 8・・・AED配置表

P 2 2・・・各班基本事項及び共通事項

P 2 4・・・傷病者対応マニュアル

P 2 8・・・★アクションカード

P 3 1・・・救急事案対応フロー等

## 実施要項

- **名 称** とくしまマラソン2024
- **主 催** 徳島県、徳島市、徳島陸上競技協会、徳島県教育委員会、徳島市教育委員会、徳島県障がい者スポーツ協会、徳島新聞社
- **主 管** とくしまマラソン実行委員会
- **特別支援** 徳島県医師会、徳島県看護協会、日本赤十字社徳島県支部、徳島市消防局、名西消防組合、板野東部消防組合、板野西部消防組合、徳島中央広域連合、徳島県消防職員協議会、国土交通省徳島河川国道事務所
- **協 賛** 大塚製薬、大塚製薬工場、大鵬薬品工業、大塚倉庫、大塚化学、大塚食品、テレコメディア、シティ・ハウジング、アクサス、ササクラスポーツ、キョーエイ、日亜化学工業、阿波銀行、徳島大正銀行、徳島文理大学、大和証券、四国大学、西日本電信電話、日本航空、四国旅客鉄道、イルローザ、徳島製粉、ネットヨタ徳島（順不同）
- **開催期日** 2024年3月24日（日）午前9時競技開始（競技時間は第1号砲から7時間、第1ウェーブ9時、第2ウェーブ9時10分スタート）マラソン（42.195km）
- **種 目** 登録の部・一般（未登録）の部  
とくしまマラソンコース（日本陸連公認、WA/AIMS公認コース）
- **コ ー ス** 徳島県庁前（国道55号かちどき橋付近）～吉野川大橋～吉野川北岸～西条大橋～吉野川南岸～ワークスタッフ陸上競技場（徳島市陸上競技場）
- **競技規則** 2023年度 日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規則による
- **表 彰** 総合男女各10位までの入賞者・一般男女各1位・全年代5才刻みの男女各3位まで（総合男女各1～3位と一般男女各1位の方を対象に当日表彰式を行い、その他表彰については、後日賞状等を発送します。）
- **大会事務局** 770-8570 徳島市万代町1-1  
とくしまマラソン実行委員会事務局  
TEL. 088-621-2150

## 大会日程等

### 3月24日（日）

#### マラソン

- 【スタート会場（徳島県庁周辺）】
- 6:00 更衣室解放
  - 7:30 手荷物預け開始（8:30まで）
  - 8:00 ランナー整列開始
  - 8:40 ランナー整列完了・各ブロック閉鎖
  - 8:45～ スタートセレモニー
  - 9:00 第1ウェーブ スタート
  - 9:10 第2ウェーブ スタート
- 【フィニッシュ会場（ワークスタッフ陸上競技場）】
- 13:00～ 表彰式
  - 16:00 閉会

#### 当日イベント【藍場浜公園】

12:00～18:00

#### 車いすロードレース

- 6:30 スタート駐車場開放（13:00まで）
- 7:00 荷物・生活用車いす預け開始（8:00まで）
- 8:25 点呼、スタートブロック整列
- 8:45～ スタートセレモニー
- 8:50 スタート（徳島県庁前）
- 9:05 競技終了（吉野川大橋北詰）

#### ファンラン

- 7:30 手荷物預け開始（8:30まで）
- 8:15 ランナー整列開始
- 8:40 ランナー整列完了・ブロック閉鎖
- 8:45～ スタートセレモニー
- 9:15 スタート（徳島県庁前）
- 10:00 競技終了（徳島市立内町小学校前）



## 本大会はMCC 参加大会です。

MCC（マラソンチャレンジカップ）は「フルマラソンに挑戦するすべてのランナー」を応援するプロジェクトです。（主催一般財団法人アールビーズスポーツ財団）  
参加大会を完走された方には以下の特典があります。

- 1) 自己ベスト達成者に「自己ベスト記録証」を贈呈。
- 2) 初フルマラソン完走者に「初フルマラソン完走証」を贈呈。
- 3) 男子サブ3（3時間以内）、女子サブ3.5達成者に「特別記録証」を贈呈。
- 4) 年間自己ベスト達成者に「年間自己ベスト記録証」を贈呈。  
※2023年4月～2024年3月までに開催されたMCC大会において「その年のベスト記録」を更新された方へ提供いたします。
- 5) 対象大会において合計1000km走破達成者に「MCCグランドスラム1000達成証」を贈呈。
- 6) 大会記録を更新して優勝した選手（男女）に最高100万円の賞金を授与。  
※本大会記録男子2時間15分25秒、女子2時間33分49秒

詳しくはMCCホームページをご覧ください。<https://www.marathon-cc.com/>



## ゲスト



### 神野 大地さん

(M&Aベストパートナーズ陸上部 プレイングマネージャー)

1993年愛知県津島市生まれ。青山学院大学3年生の時に箱根駅伝往路5区で区間新記録を樹立し、チームを初優勝に導き「三代目山の神」と称される。

卒業後は実業団に進んだのち、2018年にプロ転向。2019年アジア選手権マラソンでは優勝し、アジアチャンピオンに輝く。マラソンの自己ベストは2時間9分34秒。2022年にランニングクラブ「RETO RUNNING CLUB」を立ち上げ、市民ランナーの指導もおこなっている。



### 設楽 啓太さん・悠太さん

東洋大学在籍中、箱根駅伝において、兄弟で2度の優勝に貢献。

2014年第90回箱根駅伝では、兄弟そろって区間賞を受賞。大学卒業後は、それぞれ違った場所へ進んだが、2023年9月末に大学卒業以来の約10年ぶりとなる兄弟で同じチーム(西鉄陸上競技部)に所属することとなった。

マラソンの自己ベストは、啓太:2時間12分13秒(東京マラソン2020)

悠太:2時間6分11秒(東京マラソン2018:当時の日本記録更新)

#### comment

とくしまマラソンに初参加します！  
皆さん、目標に向かって  
頑張ってください！  
徳島で会える日を楽しみに  
しています！



### 長谷川 朋加さん

日本一走るアナウンサーとして東京を拠点に活動。

NHK山形放送局、四国放送、福島テレビを経てフリーに転身。MC、リポーター、ナレーション、モデルなど活動分野は多岐にわたる。四国放送時代にとくしまマラソンを走る企画を担当し、完走。それをきっかけに走りはじめランニングに夢中になった。現在はランニングの魅力を伝えるため全国各地のマラソン大会でMCやゲストを務めるほか、自主イベントも開催している。マラソンの自己ベストは3時間13分33秒(おかやまマラソン2018)

#### comment

とくしまマラソンはわたしのラン  
ナーとしての原点です。そんな大  
切な大会にゲストとして参加で  
きることがとても嬉しいです。当  
日は一緒に楽しく駆け抜けまし  
ょう！徳島でみなさんとお会い  
できることを楽しみにしています！

## 特別応援ゲスト



### ネルソンズさん

和田まんじゅう(わだまんじゅう)(写真左)・青山フォール勝ち(あおやまふおーがち)(写真中央)・岸健之助(きしけんのおすけ)(写真右)の3人で2010年にお笑いトリオ「ネルソンズ」を結成。吉本興業所属。

2017・2018年 NHK新人お笑い大賞・2年連続準優勝  
2022年 キングオブコント2022・決勝進出



### ヨネダ2000さん

誠(まこと)(写真左)・愛(あい)(写真右)の二人で2020年4月にお笑いコンビ「ヨネダ2000」を結成。吉本興業所属。

2021年 女芸人No.1決定戦THEW - 決勝進出  
2022年 女芸人No.1決定戦THEW - 準優勝  
M-1グランプリ - 決勝進出

## 招待選手



### 石川 佳彦さん

1988年4月25日生まれ、徳島県鳴門市出身、日亜化学所属。とくしまマラソン2012優勝。その他入賞6回。フルマラソン自己ベスト2:24:04。IAU24時間走世界選手権優勝(270.870km) 2018年ギリシャ・スパルタスロン優勝(246km/22:55:13)、2016年、2017年、2019年24時間走世界ランキング1位(279.427km) 2019、2022年アメリカ・バッドウォーター135優勝(217km/21:33:06)、2023年アメリカ・バッドウォーター135 3位(217km/23:59:25)

## 招待大学

### 東京国際大学

2011年4月に「5年で箱根駅伝出場」を目標に創部。本選出場は困難と言われながらも、選手の気迫と熱意で創部5年目での箱根駅伝出場を果たした。その後チームは少しずつ歩みを進め、94回大会からは6年連続出場(96回大会からは3年連続シード権獲得)、2019年に全日本大学駅伝にも初出場すると2021年の出雲駅伝では史上初の初出場・初優勝を成し遂げた。現在も学業と陸上競技の両立、社会で活躍する人間を目指して日々活動中。





# 競技注意事項



《本大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則及び以下の事項により行います》

## スタート

- 徳島県庁前スタート地点を先頭に集合していただきます。競技者は、時間に余裕をもって移動してください。  
国道55号南進車線に設置した荷物預かり所で荷物を預け、自分のブロックに整列してください。  
(トイレは県庁はじめ複数箇所に設置されています。ご確認ください。)
- 集合エリアは、アスリートビブスの色およびアルファベットにより、7ブロックに分けて設けています。必ずアスリートビブスの色と同色ならびに同じアルファベットのブロックへ集合し、整列するようお願いいたします。なお、集合エリア詳細につきましては、スタート会場図をご参照ください。  
※ブロックは、登録競技者・一般競技者を問わず実績タイムと予想タイムを参考とした走力順で設定しております。なおSSブロック、Sブロックは事前申込によるアスリート枠となっております。
- 本大会は、ウェーブスタート(時間差スタート)を行います。SS～Cブロックが第1ウェーブ、D～Eブロックが第2ウェーブとなります。第1ウェーブの競技者が第2ウェーブから出発した場合は第1ウェーブでの計測となります。第2ウェーブの競技者が第1ウェーブから出発した場合は、失格となります。必ず自分のブロック及びウェーブを守るようにしてください。
- スタートは、第1ウェーブが9:00、第2ウェーブが9:10にスターターの号砲で行いますが、8:40に集合・整列隊形のまま、スタート地点に向けて移動します。約8000人の競技者が移動しスタートを行いますので、転倒等による事故防止に十分ご留意の上、整然とお進みください。第2ウェーブの競技者は、9:10の号砲までスタートライン後方で待機することとなります。なお、レース後方の白バイ車両出発後の出走は認めません。  
(役員の指示及び放送アナウンスには十分注意してください。)
- スタート時に競技者の転倒等により、審判長がレースの続行を危険と判断した場合、放送アナウンス等により知らせますので、競技者はその場で必ず停止し、役員の指示に従って行動してください。

## レース中

- レース中は必ず現場の役員の指示に従って走行してください。
- レース中、コースをはみ出しての走行は、失格となります。また、コーン等で仕切られている場所は、絶対に外側へはみ出さないようにしてください。
- レース中、車いすロードレースの参加者と併走する場合は、ランナーはコースの左側を、車いすランナーはコースの右側を優先して走行してください。
- スタート・フィニッシュ会場またはコース上において、競技者は競技規則で定められた大きさを超えて会社名や商品名等を意味する図案及び商標等の広告的なものを着用したり、表示することはできません。特に特定の個人名や企業名、人権侵害にあたる内容等は取り外しを指示する場合があります。また、他の競技者に迷惑となる仮装は禁止します。
- 閉鎖時刻までに関門を通過できなかった競技者及び第7関門を通過しても16:00までにフィニッシュできなかった競技者は、速やかに競技を中止し、役員の指示に従ってください。

関 門	第1関門	第2関門	第3関門	第4関門	第5関門	第6関門	第7関門
距 離	4.8km	11.0km	16.9km	24.4km	29.2km	35.2km	38.9km
閉鎖時刻	10:15	11:10	12:05	13:15	13:55	14:45	15:20

- 役員が、競技続行不可能と判断した場合、競技者に競技中止を指示することがあります。役員の指示に従ってください。(各関門前において時間内に明らかに通過できないと判断した時も同様です。)
- コース上で紙コップやバナナなど物を投げ捨てることは、他の競技者の転倒事故等を招くことがあり、大変危険ですので、絶対にしないでください。(コース上に設置したゴミ箱に必ず捨ててください。)また、スペシャルドリンクについては、受付を行っておりません。
- 天候にかかわらず、脱水症状予防のため、レース中はこまめに水分補給してください。
- レース途中、体調に異常を感じた場合は、速やかに競技を中止し、役員に連絡してください。
- 競技者は、許可を受けた者以外、レース中いかなる方法によっても他人の助力を受けてはなりません。特に登録競技者(日本陸連登録者)はご注意ください。また、競技用シューズ底の厚さの規定にもご注意ください。
- コース中、スタートから約3.5kmの吉野川大橋北詰には、急な左カーブがありコース幅も狭くなります。また、約23km地点は折り返しとなります。他の競技者との間隔に注意する等、走行にご留意ください。
- 地震、火災、事件、事故等により緊急事態が発生した場合、レース中であっても、コース内に緊急車両を通行させます。競技者は速やかに一時停止し、役員の指示に従ってください。

## 失格

- 競技規則に反する行為を行った競技者や役員の指示に従わなかった競技者は失格とします。また、代理の出走は認めません。ともに、そのアスリートビブス及び計測チップを回収します。

## アスリートビブス・記録処理

- 記録計時は、「計測チップ」で行います。
- 大会記録(ランキングや表彰の対象となる記録)は、各ランナーのスタートライン通過からフィニッシュライン通過までのタイム(ネットタイム)とします。なお、日本陸連公認記録は、号砲を基準としたタイム(グロスタイム)となります。
- アスリートビブスは、胸部及び背部に安全ピン等で確実に結着してください。
- アスリートビブスを装着していない競技者は、本大会の出場者とみなしません。(役員によって除外いたします。)
- 防寒対策のため上着等を使用する場合は、アスリートビブスが必ず見えるように、上着に装着してください。
- アスリートビブス裏面に必要事項を必ず記入してください。
- 計測チップは競技終了後、フィニッシュ会場で回収します。指定の場所へご返却ください。
- 個人の記録については、当日、速報版のWeb記録証を発行します。また、速報をフィニッシュ会場に掲示します。
- 登録競技者で、徳島陸協が発行する公認記録証が必要な方はフィニッシュ後、手数料を用意し、公認記録証申請所(12:00~16:30)にお越しください。

## 免責、特記事項

- 競技者の競技中の事故について、主催者が加入した保険の範囲内及び応急処置以外の責任は負いません。各自の責任と判断においてレースに参加してください。
- 駐車場内等での事故、盗難、破損等、更衣室での手荷物の紛失、盗難、破損等に対して主催者は一切の責任を負いません。各自、ご注意ください。

## 大会事務局からのお願い

- 出走前、出走中に体調が悪いと感じたら、無理をせず、出走を取り止めてください。  
なお、出走に当たっては、次のことを行った上でご判断ください。

とくしまマラソンホームページ上の問診表による自己チェック  
主治医などに相談(過去に大きな病気をされた方、体調に不安のある方)

- 万が一の事故に備え、次の準備をお願いします。

- 保険証のコピーの携帯
- アスリートビブスの裏側に、お名前・緊急連絡先の記載

- 競技中に体調の悪くなった方や、体調が悪そうな方を見かけた場合、最寄の役員までお声がけください。

- コース内に救急車両を走行させる場合があります。  
役員から指示があった場合は、一時停止等のご協力を お願いいたします。

※救護役員は、傷病に対する処置を除いて、アイシング・マッサージ等はいりません。  
※救護所・保健チームには、コールドスプレーはございません。



問診表を含む  
「初心者ランナーの方への  
アドバイス」はこちら

## マナーアップにご協力ください!

- ★スタートブロックの割り込み禁止! 指定されたブロックに整列ください。
- ★トイレは指定の場所で! 指定の場所以外でのトイレは厳禁です。
- ★ゴミのポイ捨て禁止! ゴミは所定の場所へ捨ててください。
- ★給食は欲張らず! 後続ランナーのために各給食所では一人一つをお願いします。
- ★ウォーミングアップは近隣の迷惑にならないように!  
周辺の店舗の駐車場や整列付近などでのウォーミングアップは禁止します。

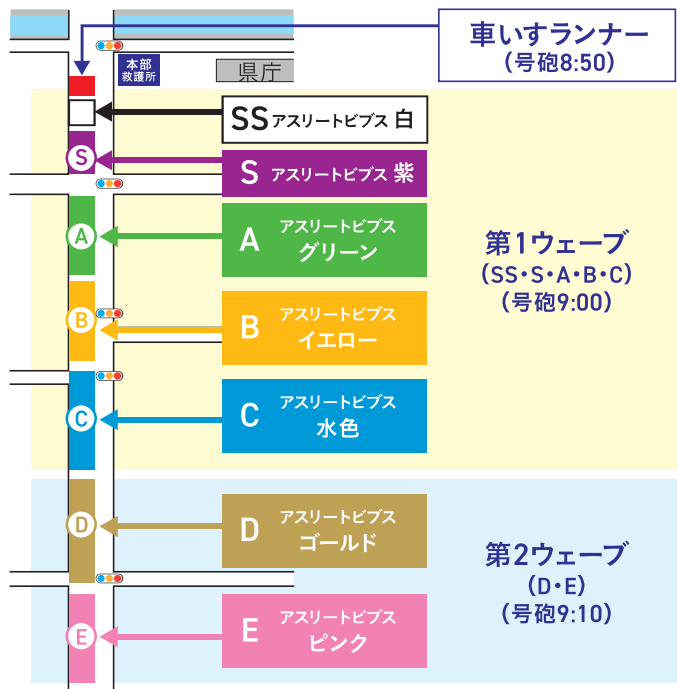


## スタート会場図

会場周辺への送迎は禁止しております。公共交通機関または無料送迎バスをご利用下さい。



### スタートブロック・整列地点





男女トイレ



男子トイレ



女子トイレ



手荷物預け



救護所



給水



無料送迎バスおりば



総合案内所

3月24日(日) 6:00～8:00  
徳島県庁敷地内

3月23日(土) 10:00～18:00  
藍場浜公園

※通訳ボランティアが待機しております。  
(英語、中国語)

総合案内所では、海外ランナー、伴走者の受付を行っています。アスリートピブス等を紛失された場合は総合案内所でお申し付け下さい。



健康相談/血圧測定

開場時間 7:30～8:20  
徳島県庁 正面玄関前



聞こえない方、聞こえにくい方は、  
お気軽にお申し付けください。  
手話または筆談でご案内いたします。

**更衣室** ※貴重品の管理は各自で行ってください。

・男子 開場時間 6:00～8:00  
徳島グランヴィリオホテル 1階

・女子 開場時間 6:00～8:00  
徳島グランヴィリオホテル 1階

※会場レイアウトは運営の都合上変更となる可能性があります。

## スタート会場

### スケジュール

6:00 更衣室開放  
7:30 手荷物預け開始(～8:30)  
8:00 ランナー整列開始(～8:40)  
8:45 スタートセレモニー  
9:00 第1ウェーブ スタート  
9:10 第2ウェーブ スタート

### 手荷物預け

荷物トラック ①～⑮  
7:30～8:30



・上記の時間を過ぎると手荷物預けができません。  
・手荷物はすべて事前に配布された手荷物袋に入れて、アスリートピブスに表示されている番号のトラックへ預けてください。  
預けた手荷物を再度取り出すことはできません。

※手荷物袋以外の預かりはできません  
※貴重品の管理は各自で行ってください。

### スタートブロック整列

8:00～8:40

・必ず各自のアスリートピブスに記載されているブロックに整列をしてください。  
・整列時間に間に合わない場合は、最後尾からのスタートとなります。時間に余裕を持って移動してください。  
・スタート時間に間に合わない場合は、出走できません。

### 注意事項

・スタート会場と周辺は様々な制限区域を設けています。役員の指示、誘導に従ってください。  
・本大会は、ウェーブスタートのため、第2ウェーブ競技者が第1ウェーブから出走した場合は、失格となります。

## マナーアップのお願い!

### ● スタートブロックの割り込み禁止!

指定されたブロックに整列ください。

### ● トイレは指定の場所で!

指定の場所以外でのトイレは厳禁です。

### ● ゴミのポイ捨て禁止!

ゴミは所定の場所へ捨ててください。

### ● 給食は欲張らず!

後続ランナーのために各給食所では一人一つをお願いします。

### ● ウォーミングアップは近隣の迷惑にならないように!

周辺の店舗の駐車場や整列付近などでのウォーミングアップは禁止します。



# フィニッシュ会場図

会場周辺への送迎は禁止しております。公共交通機関または無料送迎バスをご利用下さい。

## 計測チップの返却について

- ・今大会は**計測チップの返却が必要です**。ご自身で取り外してください。
  - ・レース途中で棄権された場合は、計測チップを必ず係員に返却してください。
  - ・参加を辞退された場合や計測チップの返却を忘れた場合は、同封の返却用封筒でご返送ください(送料はご負担ください)。
- ※計測チップの返却がない場合は、2,000円を請求させていただきます。

## ランナーズ・クルーズ乗船場所



※立ち入り制限エリア

※立ち入り制限エリア

計測チップ返却

フィニッシュライン

表彰台

大会本部

救護所  
AED

フィニッシャー  
タオル

完走メダル

おもてなし  
引換券

給水

公認記録証  
申請所  
(登録競技者のみ)

お接待所

荷物返却所

仮設

ドリンクコーナー

総合案内所  
AED

女子更衣室

臨時駐車場行き

無料送迎バスのりば

イベント会場  
(JR徳島駅付近) 経由  
臨時駐車場行き

仮設

男子更衣テント





男女トイレ



男子トイレ



女子トイレ



おもてなし引換券

お接待所にて引き換えます。

- ・徳島製粉「金ちゃんヌードル」  
徳島が誇る県民食「金ちゃんヌードル」を味わえます。
- ・NEHAN TOKYO「エプソルト」  
「日常をちょっとやわらかくする」をコンセプトに生み出されたエプソムソルト入浴剤「エプソルト」をプレゼント。



お接待所

(無料・競技者のみ・16:30まで)  
地元ボランティアによるあたたかいおもてなしがごさいます。



ドリンクコーナー

大塚製薬の「BODY MAINTE」等をお配りします。



荷物返却所

番号案内に従い、ご自分の荷物をお受け取りください。



無料送迎バスのりば



総合案内所



公認記録証申請所

(登録競技者のみ 12:00～16:30)

**表彰式 13:00**(予定)

総合男女各1～3位、一般男女各1位の方は、表彰式にご出席ください。

※会場レイアウトは運営の都合上変更となる可能性がございます。

## フィニッシュについて

## フィニッシュ後の流れ

① フィニッシュ

② フィニッシャータオル受け取り

③ 完走メダル受け取り

④ おもてなし引換券受け取り

⑤ 給水 (必要な方)

⑥ 計測チップ返却

※ 必ず返却ください。未返却の場合  
後日実費(2,000円)を請求させていただきます。

⑦ 手荷物返却



⑧ おもてなし・更衣

給水: BODY MAINTE ほか  
給食: 金ちゃんヌードル  
癒し: エプソルト

## 記録・完走証について

## 大会記録

大会記録は、ネットタイムを採用します。

## Web記録証

紙では、発行しません。フィニッシュ後10分程度で速報版、大会終了1週間程度で、確定版をRUNNETよりダウンロードできます。

公認記録証明書  
(登録競技者対象)

日本陸上競技連盟登録者で公認記録証明書を希望する方は公認記録証申請所にて受付けます。

## その他

## 注意事項

アスリートビブスについている安全ピンは危険ですので、必ずお持ち帰りください。

## 臨時駐車場（無料）※大会当日のみ利用可能

※駐車場には限りがありますので、ご来場の際は車の乗り合わせ又は公共交通機関ご利用にご協力ください。

★5:30～18:30

（閉鎖時間にご注意ください）

徳島市民吉野川運動広場

（徳島市上吉野町）約1000台

沖洲マリンターミナル

（徳島市東沖洲2丁目）約400台

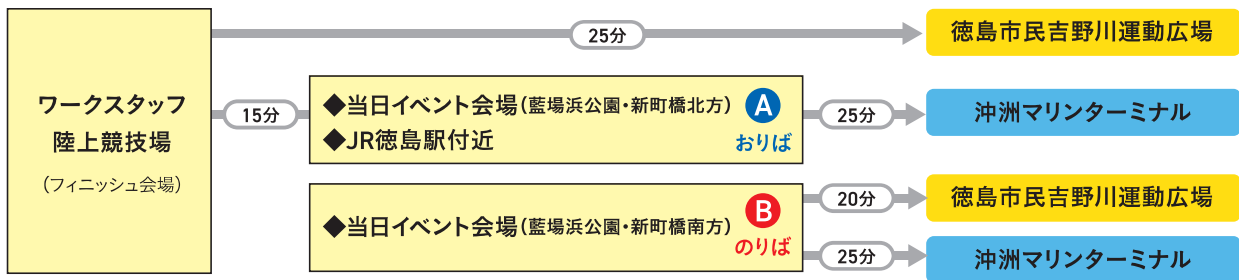
## 無料送迎バス ※大会当日のみ運行

●スタート会場行き 運行時間 6:00～7:40の間 随時運行（最終7:40発）

※臨時駐車場付近の道路は大変混雑いたします。お早めにお越しください。



●臨時駐車場及び当日イベント会場（JR徳島駅付近）行き 運行時間 11:00～18:00



●ランナーズクルーズ（無料）※3月24日 運行時間 12:00～17:00の間 随時運行



※ランナーとその家族のみ乗船可。乗船時にはゼッケンの確認が必要となります。



スタート、フィニッシュ（陸上競技場）付近に駐車場はございません。上記駐車場をご利用のうえ、無料送迎バス（当日のみ運行）等をご利用ください。

大会中止等のお知らせ

●大会当日の朝 5:30より公式ホームページにてお知らせいたします。  
<https://www.tokushima-marathon.jp/>



四国放送ラジオ(1269KHz)でお知らせいたします。



# とくしまマラソン

## 3月23日 日 拡大図

# 交通規制

### 迂回にご協力をお願いします

①～⑯ 交通規制区間 迂回推奨ルート

※規制時間は状況により変更することがあります

### スタート地点 スタート会場付近



### 折り返し地点 西条大橋付近



### 第7関門地点 四国三郎橋付近



### フィニッシュ地点 ワークスタッフ陸上競技場(徳島市陸上競技場)

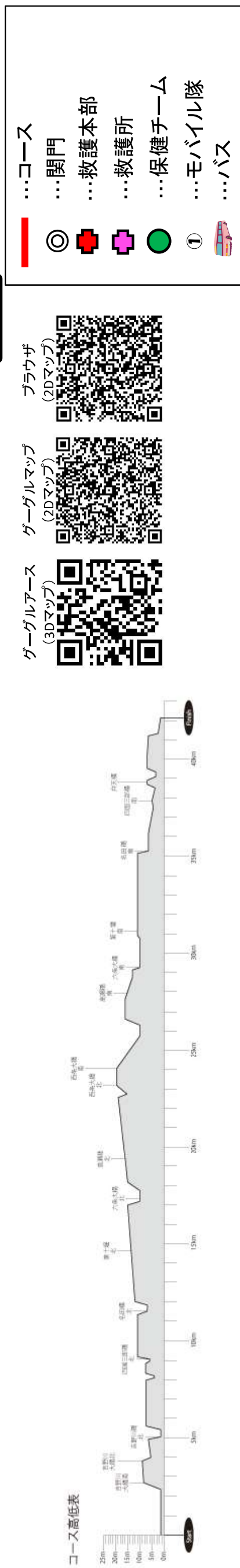
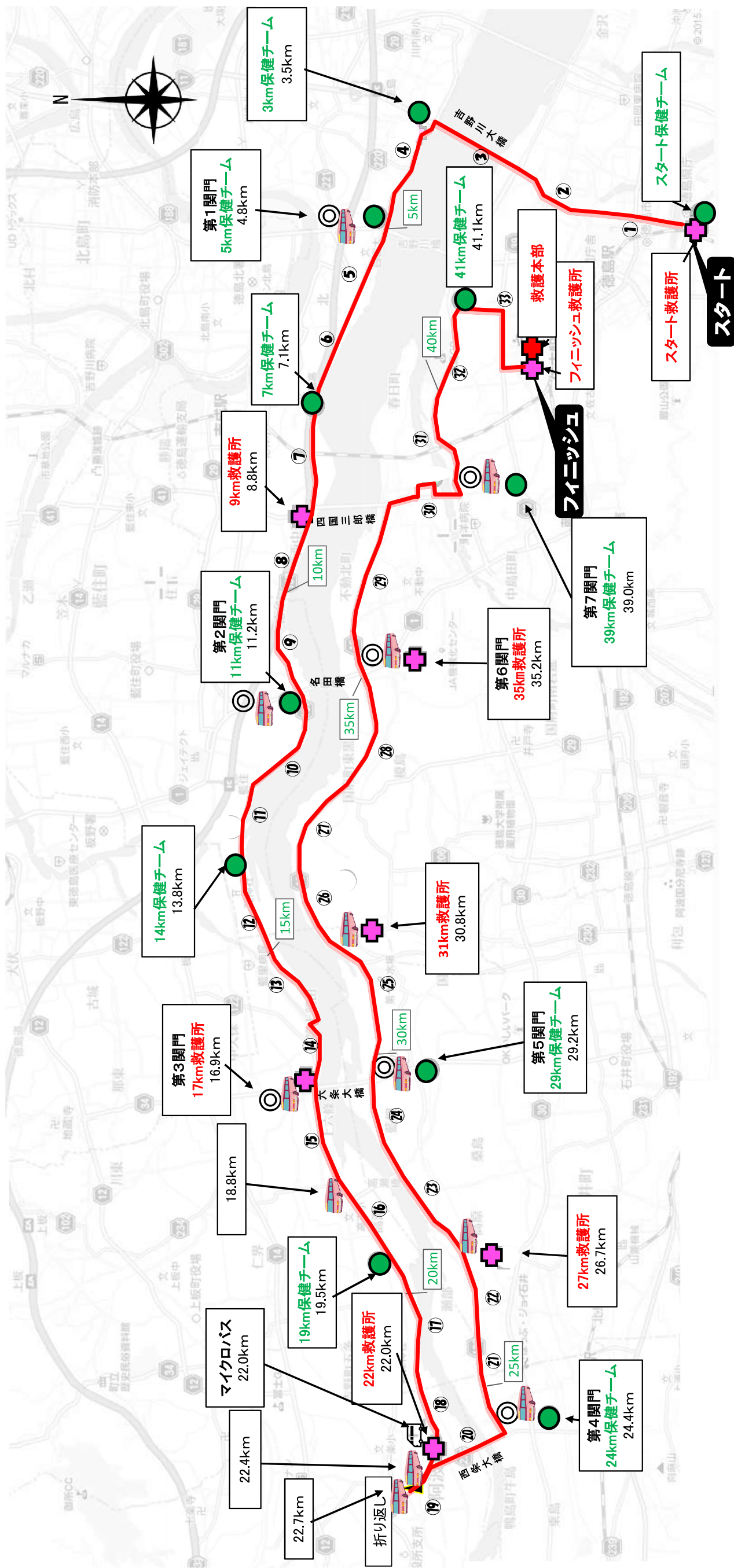




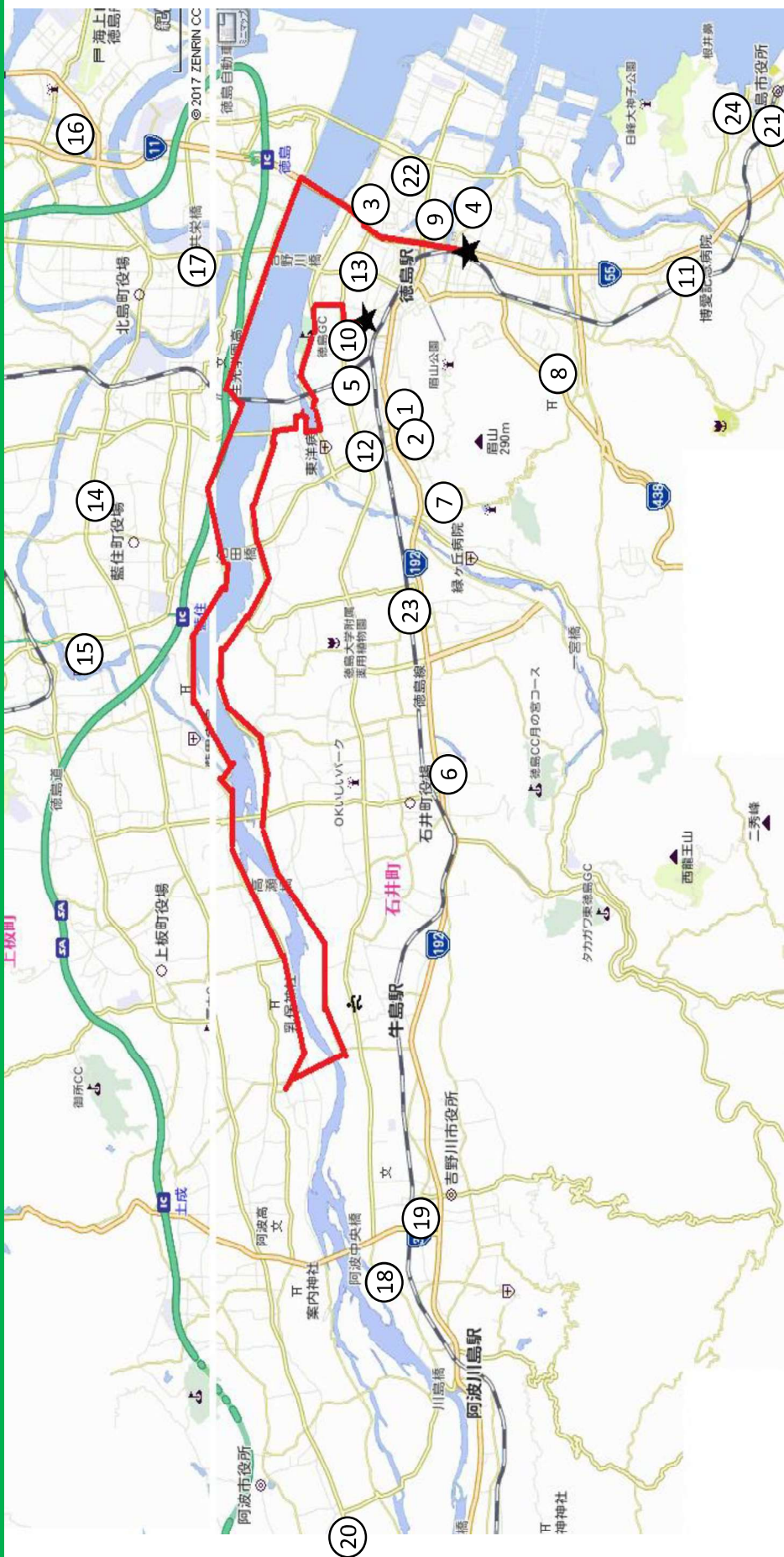


## とくしまマラソン2025 コースマップ

コースマップは下記の二次元コードからも確認可能



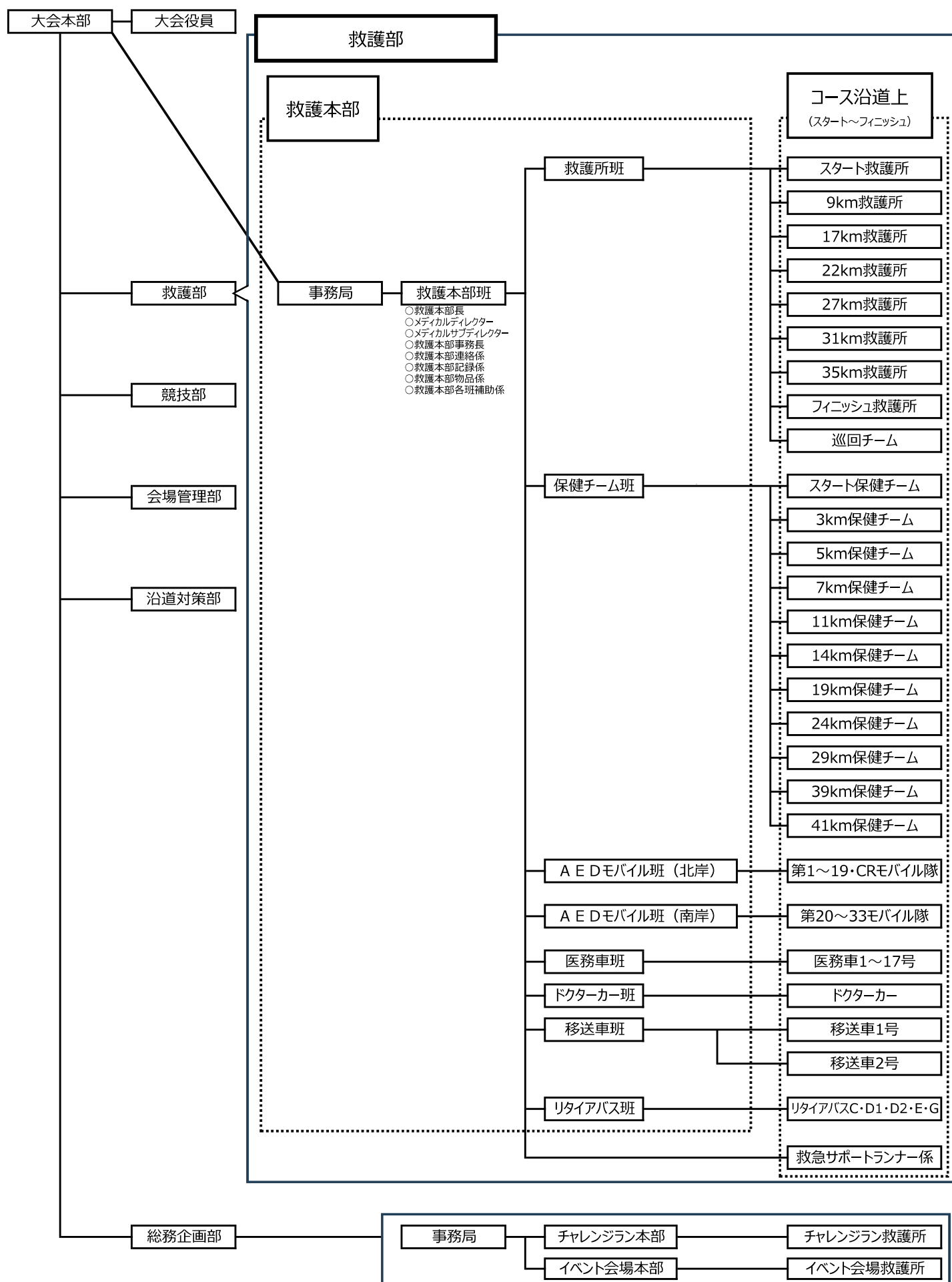
# コース沿道周辺の救急対応医療機関・診療医療機関



①徳島県立中央病院 088-631-7151	②徳島大学病院 088-631-3111	③徳島市民病院 088-622-5121	④田岡病院 088-622-7788	⑤水の都記念病院 088-632-9299	⑥手東病院 088-674-0024	⑦松永病院 088-632-3328	⑧協立病院 088-668-1070
⑨中洲八木病院 088-625-3535	⑩川島病院 088-631-0110	⑪博愛記念病院 088-669-2166	⑫天満病院 088-632-1520	⑬徳島健生病院 088-622-7771	⑭稲次病院 088-692-5757	⑮徳島医療センター東病院 088-672-1171	⑯浦田病院 088-699-2921
⑰きたじま田岡病院 088-698-1234	⑱吉野川医療センター 0883-26-2222	⑲美摩病院 0883-24-2957	⑳阿波病院 0883-36-5151	㉑徳島赤十字病院 0885-32-2555	㉒沖の洲病院 088-622-7111	㉓たまき青空病院 088-642-5050	㉔徳島ロイヤル病院 0885-32-8833



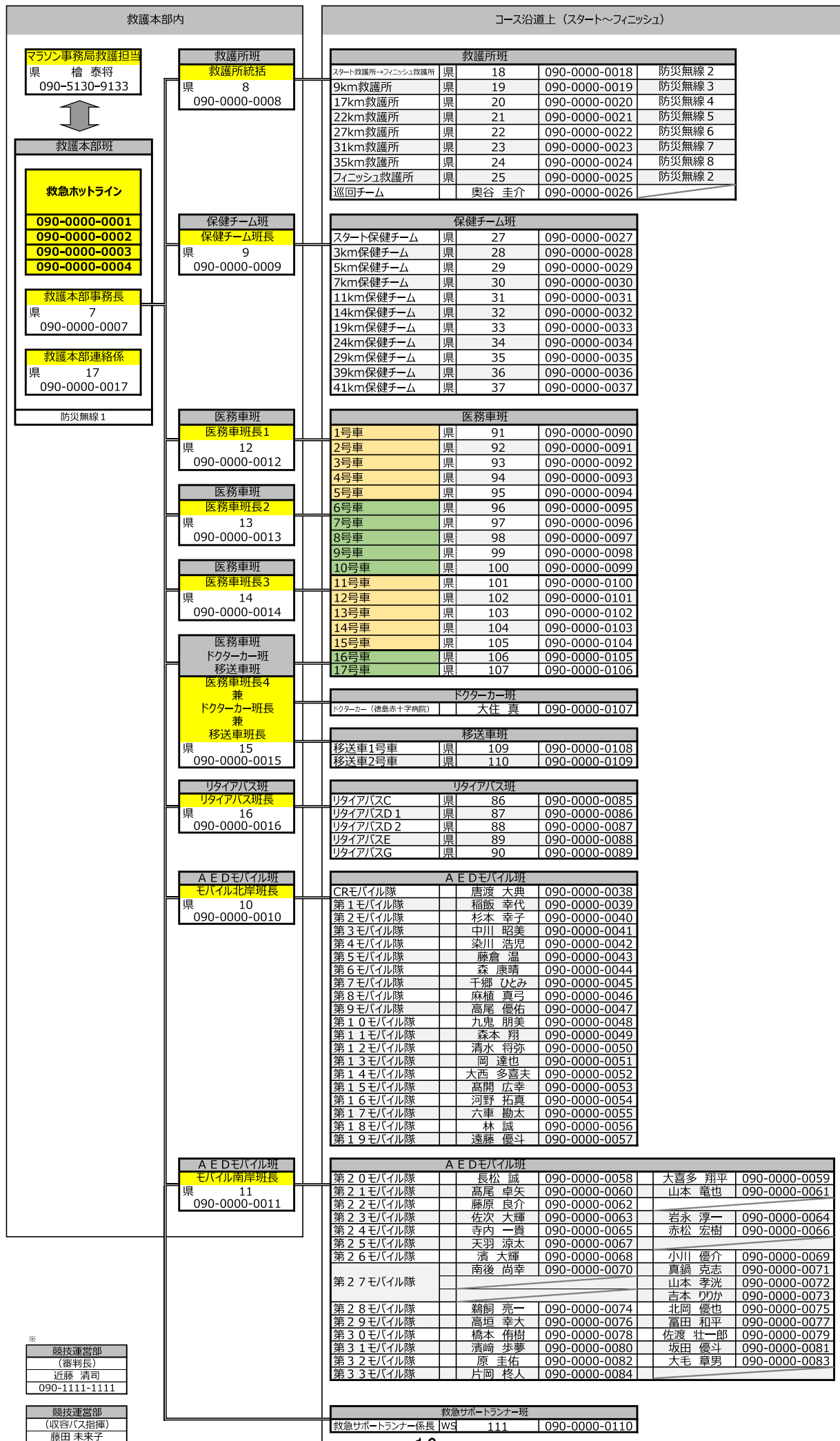
## とくしまマラソン救護部運営組織図



# 救護体制概要

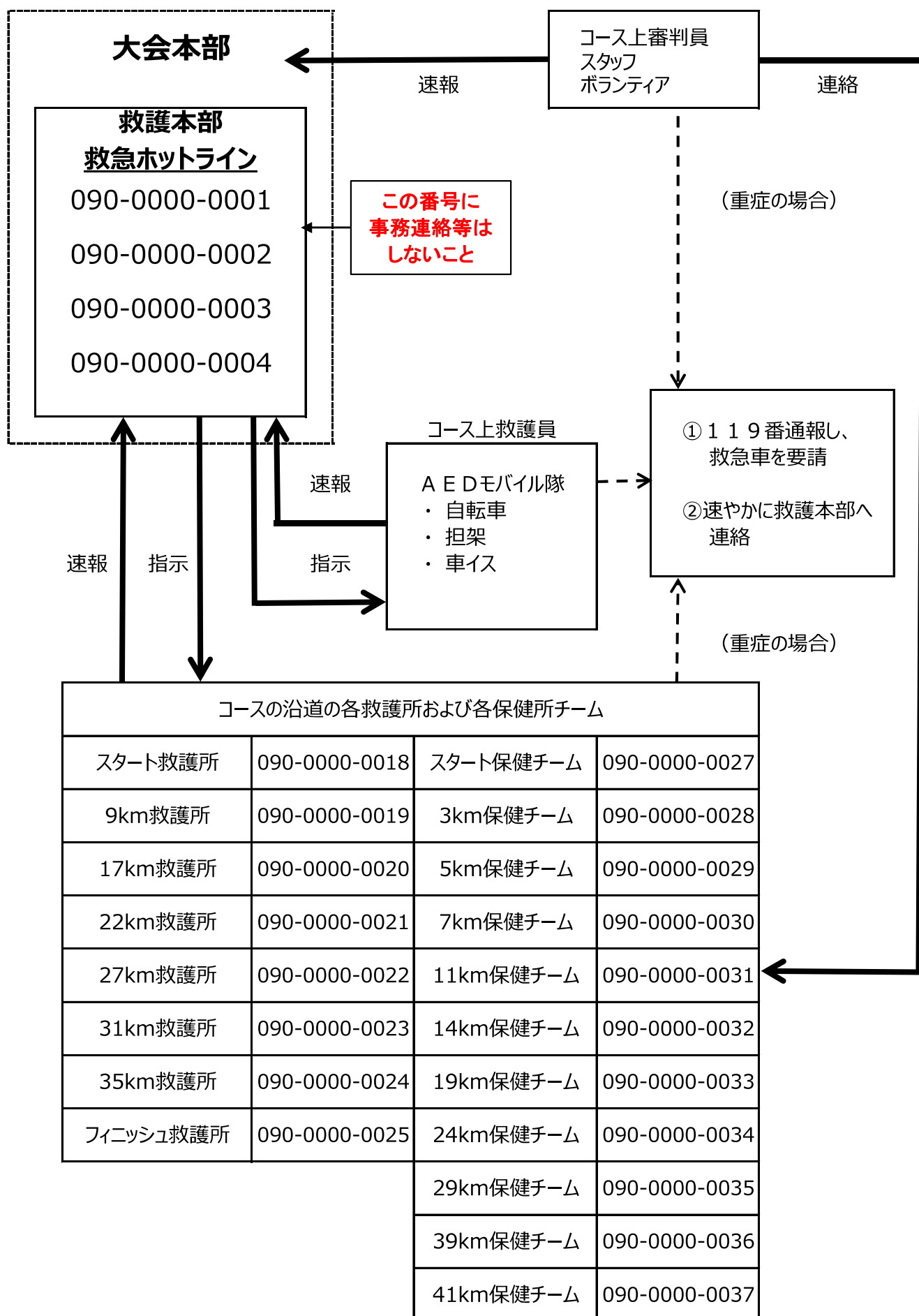
配置	機能・役割	係	区分	業務内容
救護本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救護に関する各班の管理及び連絡調整</li> <li>・救急車の要請</li> <li>・医務車の手配</li> <li>・大会本部との連絡調整</li> </ul>	救護本部長	医師	救護全体総括
		メディカルディレクター	医師	責任者として判断を行う
		メディカルサブディレクター	医師	各班からの報告を受け指示を行う
		救護本部事務長	県職員	救護本部での全体調整
		各班班長		
		救護所・保健チーム・北岸モバイル・南岸モバイル・医務車・移送車・リタイアバス	県職員	各班との連絡調整
		救護本部連絡係	県職員	救護本部の活動を大会本部へ報告
		救護本部記録係	県職員	救護本部の活動を記録（クロノロジー）
		救護本部物品係	県職員	救護本部・フィニッシュ救護所の物品管理
救護所 ・スタート救護所 ・9km救護所 ・17km救護所 ・22km救護所 ・27km救護所 ・31km救護所 ・35km救護所 ・フィニッシュ救護所 ・巡回チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傷病者の診断</li> <li>・救急車の要請</li> <li>・救護本部との連絡調整</li> </ul>	救護所主任	救護所主任	責任者として救護所を運営 救急搬送者の人定
		医療スタッフ	(主任)医師	(医療責任者として医療スタッフへ指示) 傷病者の医療・救護 スタッフへの役割分担等の指示
		医療スタッフ	看護師	救護物品の準備、医師の補助 傷病者の病院搬送へ同行
		医療スタッフ	トレーナー	医師の業務補助
		救護所連絡係	県職員	救護所統括（救護本部）との連絡調整
		救護所物品係	県職員	救護物品の管理・返却
		補助	看護学生	傷病者の受付・班員の補助 傷病者救護記録表の作成・提出
		巡回チーム	医師等	救護所等を中心にコースを巡回し、スタッフへ助言、本部との情報連携
保健チーム ・全11チーム (スタートは健康相談)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傷病者の簡易措置</li> <li>・救急車の要請</li> <li>・救護本部との連絡調整</li> </ul>	医療スタッフ	保健師	傷病者の簡易措置 傷病者の病院搬送へ同行
		保健チーム連絡・物品係	県職員	保健チーム班長（救護本部）との連絡調整
モバイル隊 ・第1～19(北岸) ・第20～33(南岸) +CR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コース上での救護監視</li> <li>・AEDにより救命処置</li> </ul>	リーダー	消防士等	担当エリア内の責任者・ コース上での救護監視
		サブリーダー	消防士等	コース上での救護監視
		スタッフ	看護学生	コース上での救護監視 リーダー・サブリーダーの業務補助
救急サポートランナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コース上での救護監視</li> <li>・緊急時の応急処置</li> </ul>	救急サポートランナー	一般公募 (医師・看護師・准看護師・救急救命士・救急救員)	コースを走行し、ランナーの救護監視や 緊急時の応急処置
		受付係	ワークスタッフ	救急サポートランナーの受付
医務車 ・1～17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救護本部からの指示による傷病者の移送</li> </ul>	医務車連絡係	県職員	いまどこ+を使用し要請先まで 医務車を誘導 医務車班長（救護本部）との連絡調整
		(運転手)	(タクシー会社)	(医務車の運転)
リタイアバス C・D1・D2・E・G	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コース上5箇所に待機しリタイアしたランナーをフィニッシュ会場へ移送</li> </ul>	リタイアバス連絡係	県職員	リタイアバス班長（救護本部）との 連絡調整 リタイアバスへの乗車案内
移送車	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救護スタッフ、物品の移送</li> </ul>	移送車係	県職員	救護スタッフ、物品の移送

# 救護部連絡体制





# 緊急時の電話連絡系統



# AED配置一覧

AED No.	名称	AED配置場所（目安）(km)	備考
1	モバイル隊 1	ランナー最後尾→徳島中央公園（チャレンジラン）	-0.7～ 自転車
2	スタート救護所	徳島県庁	0.0 救護所
3	モバイル隊 1	簡易裁判所北交差点	0.5 自転車
4	モバイル隊 2	徳島大学前	1.3 自転車
5		市民病院付近	2.0 自転車
6	モバイル隊 3	吉野川大橋南詰	2.3 自転車
7		吉野川大橋中央	2.9 徒歩
8		吉野川大橋北詰	3.4 徒歩
9	3km保健チーム	吉野川大橋北詰	3.5 保健チーム
10	モバイル隊 3	吉野川大橋北詰	3.6 徒歩
11	モバイル隊 4	進入口 4（徳島）	4.2 自転車
12	5km保健チーム	吉野川橋北	4.8 保健チーム
13	モバイル隊 5	進入口 9（徳島）	5.4 自転車
14	モバイル隊 6	進入口 10（徳島）	6.2 自転車
15	7km保健チーム	生光学園前	7.1 保健チーム
16	モバイル隊 7	進入口 15（徳島）	8.0 自転車
17	9km救護所	四国三郎北	8.8 救護所
18	モバイル隊 8	進入口 18と19の間	9.6 自転車
19	モバイル隊 9	進入口 21（藍住）	10.6 自転車
20	11km保健チーム	名田橋北	11.2 保健チーム
21	モバイル隊 10	進入口 26（藍住）	12.1 自転車
22	モバイル隊 11	進入口 28（藍住）	12.9 自転車
23	14km保健チーム	若一王子神社西	13.8 保健チーム
24	モバイル隊 12	進入口 31（藍住）	14.1 自転車
25	モバイル隊 13	進入口 32（藍住）	14.8 自転車
26		進入口 32と33の間	15.5 自転車
27		進入口 33（上板）	16.0 自転車
28	モバイル隊 14	進入口 35（上板）	16.3 自転車
29	17km救護所	六条大橋北	16.9 救護所
30	モバイル隊 15	進入口 39（上板）	17.5 自転車
31		進入口 40（上板）	18.1 自転車
32	モバイル隊 16	進入口 41（上板）	18.8 自転車
33	19km保健チーム	光食品西	19.5 保健チーム
34	モバイル隊 17	進入口 43（上板）	19.9 自転車
35		進入口 44（上板）	20.7 自転車
36	モバイル隊 18	進入口 45（阿波）	21.3 自転車
37	22km救護所	蛇池川排水機場・進入口 47（阿波）	22.0 救護所
38	モバイル隊 19	進入口 49（阿波）（折り返し付近）	22.4（23.1） 自転車
39	モバイル隊 20	進入口 50（阿波）	23.4 自転車
40		西條大橋	24.0 自転車

AED No.	名称	AED配置場所（目安）(km)		備考
41	第7保健チーム	西條大橋南	24.4	保健チーム
42	モバイル隊2 1	進入口5 5（吉野川）	24.8	自転車
43		進入口5 7（吉野川）付近	25.2	自転車
44	モバイル隊2 2	進入口6 0（石井）	26.0	自転車
45	27km救護所	石井防災ステーション	26.7	救護所
46	モバイル隊2 3	進入口6 4（石井）	27.3	自転車
47		進入口6 5（石井）	27.9	自転車
48	モバイル隊2 4	進入口6 8（徳島）	28.5	自転車
49		進入口6 9（徳島）	29.0	自転車
50	29km保健チーム	進入口7 1（徳島）	29.2	保健チーム
51	モバイル隊2 5	進入口7 2（徳島）	30.2	自転車
52	31km救護所	進入口7 3（徳島）	30.8	救護所
53	モバイル隊2 6	進入口7 4（徳島）	31.1	自転車
54		進入口7 5（徳島）	31.6	自転車
55	モバイル隊2 7	進入口7 6（徳島）	32.1	自転車
56		進入口7 7（徳島）	32.5	自転車
57		進入口7 8（徳島）	33.0	自転車
58		進入口7 9（徳島）	33.5	自転車
59	モバイル隊2 8	進入口7 9と8 0の間	34.0	自転車
60		進入口8 0（徳島）	34.4	自転車
61		進入口8 1（徳島）	35.0	自転車
62	35km救護所	名田橋南	35.2	救護所
63	モバイル隊2 9	進入口8 4（徳島）	36.1	自転車
64		進入口8 7（徳島）	36.9	自転車
65	モバイル隊3 0	花市場西	37.7	自転車
66		弁天橋北	38.3	自転車
67	39km保健チーム	弁天橋南（第7関門）	39.0	保健チーム
68	モバイル隊3 1	進入口9 6（徳島）	39.4	自転車
69		進入口9 9（徳島）	39.8	自転車
70	モバイル隊3 2	進入口1 0 1（徳島）	40.1	自転車
71		進入口1 0 3（徳島）	40.6	自転車
72	41km保健チーム	城ノ内中等	41.1	保健チーム
73	モバイル隊3 3	田宮街道交差点	41.7	自転車
74	フィニッシュ救護所	フィニッシュ会場	42.2	救護所
-	チャレンジラン救護所	チャレンジランフィニッシュ（内町小学校）	-	救護所
-	モバイル隊CR	チャレンジランコース（徳島中央公園）	-	救護所
-	医務車①～⑯	コース各所	-	医務車
-	イベント会場救護所	イベント会場（藍場浜公園）	-	救護所
-	総合案内所	フィニッシュ会場	-	案内所

# 救護業務の基本事項

## 救護業務範囲

---

### 1 救命処置

- ・救護部スタッフ全員が発見次第、直ちに対応。
- ・心肺停止等が発生した場合、直ちに119番通報し、救命処置を行いながら、救護本部に連絡。

※一次救命処置（BLS＝Basic Life Support）

- ▷呼吸が止まり、心臓も動いていないとみられる人の救命へのチャンスを維持するため、特殊な器具や医薬品を用いずに行う救命処置。
- ▷胸骨圧迫を基本とし、その場にAEDがあれば使用する。
- ▷可能な場合は人工呼吸からなる心肺蘇生法(CPR)を実施する。

### 2 応急処置（主に皮膚科的、整形外科的処置）

- ・競技を継続できるように、救護所に対応および処置を行う。
- ・骨折などを伴う場合は、すみやかに救護本部に連絡する。

### 3 環境による疾病対策（脱水、熱中症、低体温の治療など）

- ・救護所に対応。P28搬送基準を参考に対処
- ・救護所において、経口摂取を施しても回復しなければ、医務車または救急車にて医療機関に搬送する。
- ・医務車または救急車の要請をしたら、救護本部に連絡する。（医務車はいまどこ+を利用）

### 4 一般内科的問題への対応（喘息、腹痛、頭痛、吐き気など）

- ・救護所に対応し、休養で改善しなければ、救護本部に連絡。対症療法を行い医療機関に搬送する。
- ・救急車での搬送が必要な場合には、すみやかに119番通報し、救護本部に連絡する。

### 5 救急隊及び協力医療機関との連携

- ・救護本部、救護所に対応。

※ 救護本部以外で救急車を要請する場合、または要請した場合、必ず救護本部へ連絡すること。

## その他留意事項

### 1 危機管理

- ・競技者の救急処置、救急車出動要請、病院での治療経過などについては、すみやかに救護本部へ報告する。
- ・対外的な医療情報の提供については、大会実行委員会長、救護本部長、メディカルディレクターもしくはその代行者によって行う。
- ・たとえ情報を知り得ているとしても、上記以外の関係者は他者への情報提供もしくは議論をしないこと。

### 2 環境温

- ・環境温が21度以上の場合、またはマラソン当日の気温が前日に比べ、急にあがっている場合や湿度が高い場合には、熱中症の危険が高まる。
- ・また、環境温が12度以下の場合、ペースの遅い競技者は低体温になりやすく、捻挫などの整形外科的問題が頻発し、リタイアしやすい。

### 3 救護所でリタイアした競技者のフィニッシュ地点への搬送

- ・身体に異常がないか確認し、自力移動が可能であれば、最寄りの関門等に配置されている「収容バス」もしくは「リタイアバス」を案内する。
- ・「収容バス」もしくは「リタイアバス」で搬送する場合、出発時間、輸送人数、ナンバーカードの情報を、関門の場合は関門役員が競技運営本部、リタイアバスの場合はリタイアバス係がリタイアバス班長に報告する。
- ・本人が希望した場合は、公共交通機関を使うこともできる。ただし、自己責任・自己負担となることを必ず伝えること。

### 4 病院へ搬送された競技者の移動

- ・処置が軽く済み、荷物がフィニッシュ地点にある場合、付き添いのスタッフがフィニッシュ地点まで同行する（スタッフ同行の場合、交通費は大会負担、医療費は立て替えて競技者負担）。
- ・病院に荷物を運んでいった場合、家族の迎えや一人で帰宅が可能な場合、自己負担で帰ってもらう。

### 5 周辺状況の把握

- ・業務場所へ到着した際、場所（ km地点、目標物）、周辺状況・緊急車両進入口などを確認すること。

### 6 計測チップ(ランナーの靴紐に装着)の扱いについて

- ・病院へ搬送等がある場合、可能な限り、靴に装着してある計測チップを救護スタッフで回収する。
- ・「収容バス」または「リタイアバス」によりフィニッシュ会場へ運ばれるランナーについては、会場で他班スタッフが回収するため、その場で回収不要。

※チップイメージ



### 7 外国人ランナーとの意思疎通について

- ・救護所・保健チームにおいては、コミュニケーションシートを使用し、意思疎通を行う。
- ・会話が可能な場合は、大会総合案内の通訳ボランティア（英語・中国語）へ電話し、電話通訳を依頼する。（氏名：080-8888-8888）
- ・自身のスマートフォンでの音声翻訳機能を使用してもよい。

### ■ 集合～業務開始

#### ● 集合・移動 「スタッフ関係マニュアル」P12～参照

- ・ 業務場所へは、指示された移動手段もしくは各自で移動し、集合する。  
※業務場所付近に駐車場はありません。
- ・ スタッフバスには案内アナウンスがないため、発車時刻までに各乗車場から乗車すること。
- ・ 同時に複数のスタッフバスが発車することがあるため、必ずバスの表示を確認して乗車すること。
- ・ 停車場所等の車内アナウンスはありません。各自で降車場所を確認して降りること。
- ・ 自転車で移動した場合は、コース外の邪魔にならない所へ駐輪すること。

#### ● 配送物品の受け取り 「物品マニュアル」P2～参照

- ・ 救護物品は、当日の朝、配送業者が各救護所及び保健チームへ運搬するので、物品管理係等は、配送業者から救護物品を受け取る。※トラックがテント周辺に到着するので受けとりに行くこと  
一部の連絡・物品係は、医務車により他の班員より早く業務地に集合し、物品の受け取りを行う。
- ・ AEDモバイル隊は、集合場所となる救護所・保健チーム等で救護物品を受け取る。
- ・ 救護所主任、連絡・物品係は、現場到着後必ず携帯電話の電源を入れること。（携帯電話は事前酉
- ・ 救護所主任、連絡・物品係は、インストールされている「いまどこ+」が正常に作動するか確認をすること。  
(スマホのみ)

#### ● 設営（救護所及び保健チーム）

- ・ テント内に置かれた机、イス等を使って設営する。
- ・ テントの横幕がまくり上げられている場合は、おろして側面を囲うようにする。  
横幕をまくり上げるのは強風時のみ。業務を開始した後も、横幕は適宜調整する。
- ・ 石油ストーブの扱いには十分に注意すること。消火器の位置を全員で共有しておくこと

#### ● 事前ミーティング

- ・ 救護所主任・(県職員)連絡係を主導に簡単に自己紹介をし、あらかじめ役割分担を決めておくこと。  
(救護所運営のリーダーは、各救護所においては、救護所主任)

※ 各救護所及び保健チームはAEDモバイル隊等の集合場所になっている

#### ● 業務開始

- ・ 救護所主任はスタッフの出欠状況を確認し、業務開始の準備ができ次第、救護本部の班長に報告する
- ・ 役割分担を踏まえた上で、柔軟に動くこと。

## 救護業務の流れ | 各班共通事項

### ■ごみ処理の方法

- ・ごみは、資源ごみ、燃えるごみ、燃えないごみ等に分別し、テント内に置いておくこと。机にゴミ袋を貼り付ける。
- ※ 廃棄物処理業者が回収を行うため、できる限り給水所のゴミ等と固めておくこと。  
**医療廃棄物が生じた場合、医療廃棄物専用の段ボール箱に廃棄、封をしておくこと。**
- ※ 医療廃棄物は専門の処理業者が回収を行う。
- ※ 医療廃棄物専用段ボール箱へ捨てる。

### ■毛布・タオルの取り扱い

- ・ 使用済毛布と、未使用の毛布を分けてビニール袋等に入れ、「使用済み」「未使用」と明記する。
- ・ 使用済み**タオル**は廃棄処分とするため、燃えるごみとして分別しておくこと。
- ・ 未使用の毛布等は、コース後半の救護所・保健チームに運搬する「物品マニュアル」P4

### ■スタッフの欠員補充及び交代

- ・ 傷病者の病院等への搬送に伴う、スタッフの付き添いにより生じた欠員の補充は、要請があった都度、補充の要・不要について業務時間と移送時間を考慮し、救護本部にて適宜判断する。
- ・ AEDモバイル隊などの欠員補充は、救護本部事務長の指示により救護所班から補充する。
- ・ 欠員補充又は交代要員のスタッフの搬送は、各班長からの要請を受け、救護本部事務長が医務車班長もしくは移送車班長に指示し、医務車または移送車が行う。

### ■業務終了～解散

#### 業務終了

- ・ 連絡・物品係、モバイル隊リーダーは、最終ランナー通過後又は関門閉鎖後、その旨を班長に報告し、業務報告書を作成・チェックする。  
※ 隊列を組んで走行しているバス・トラック等のすぐ前を走るランナーが最終ランナー。

#### 業務報告書の提出

- ・ 救護物品の中の「報告書等回収封筒」へ業務報告書（救護記録）を入れ、救護物品ケースへ入れる。

#### 物品の返却

- ・ 最終ランナー通過後、物品輸送トラックに救護物品ケース、担架ベッド、車イス、クーラーボックス、モバイル隊リュック等を積み込む。**別の救護所・保健チームに運搬する物品は、運搬する車両(医務車)に積み込む。「物品マニュアル」P4**
- ・ 連絡・物品係は、携帯電話無線・スタッフベストを徳島県庁101会議室へ返却すること。
- ※ モバイル隊の携帯電話・AEDは、集合箇所の連絡・物品係が受取、県庁へ返却する。

#### 移動・解散「スタッフ関係マニュアル」P12～参照

- ・ 指示された移動手段で移動する。(現地集合以外)
- ・ スタッフバスは交通事情により到着が遅れる可能性がある。
- ・ スタッフバスを利用して現地入りした班は基本的に乗車するため、乗車状況を確認しあうこと。
- ・ 連絡・物品係が荷物積み込みを終えていない場合、バスの運転手に報告し、連絡・物品係の乗車までバスを待機させること。
- ・ 救護所主任は、救護所統括（救護本部内）に業務終了を報告する。



# 救護所・保健チームにおける救急・処置マニュアル

## 1) 意識レベルの確認

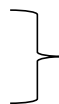
---

(1) 意識がない場合 …… バイタル（脈拍数、呼吸数、血圧、体温）をチェック

①救急要請：「119番通報」

②一次救命処置（BLS）実施

③AED準備・施行



直ちに（役割分担を決めて）行う

※ 救護本部に「赤色の患者発生」と連絡すること

(2) 意識がある場合 …… 問題点の聴取とレース継続の意思確認

①継続する場合 …… 応急処置へ

②棄権する場合 …… 応急処置、リタイアバス等への案内

## 2) 応急処置

---

(1) 外傷がある場合 …… 外傷の処置

・擦過傷 …… 水で洗浄し、傷バンドかガーゼを貼付

・皮下出血（血まめ）

破れている場合 …… 水で洗浄し、傷バンドかガーゼを貼付

破れていない場合 …… 希望により消毒し針で穿刺、傷バンドかガーゼを貼付

・皮下水疱（まめ、靴ずれ）

破れている場合 …… 水で洗浄し、傷バンドかガーゼを貼付

破れていない場合 …… 希望により消毒し針で穿刺、傷バンドかガーゼを貼付

・打撲 …… アイシングなど

・骨折 …… アイシング、固定、圧迫 → 救急車要請

・挫創 …… 縫合したほうが良い場合 → 水で洗浄し、テープまたは傷バンドのテープ部分で固定  
出血がある場合 → 圧迫止血（止血できない場合は救急車要請）

(2) 外傷がない場合

・筋肉痛 …… アイシングなど

・下肢のけいれん …… けいれんしている筋の拮抗筋を伸ばす体位にして休養、水分補給

・肉離れ …… アイシング、固定、圧迫など

・脱臼 …… 安静、救急車を要請

・捻挫 …… アイシング、固定

## 救護所・保健チームにおける救急・処置マニュアル

### （３）内科的症状の場合

#### ①熱中症

- ・意識の有無を確認し、なければ救急車を要請する。要請後速やかに救護本部に連絡する
- ・涼しい場所に避難し、服を緩め、体を冷やしながら、水分を補給する  
自力で飲めなかったり、補給しても回復しない場合は、医務車や救急車で病院に搬送する
- ・安静にし、回復したらリタイアバスを案内する

#### ②低体温 …… 保温（アルミクシート）

- ・風を避けられるテント内に移動し、安静にし保温する
- ・着衣が濡れていれば古着Tシャツに着替えさせて保温する
- ・着替えがなければ水分をタオル等でふき取る
- ・お湯を飲ませ、使い捨てカイロなどで首筋やわきの下を温める
- ・回復しなければ医務車や救急車で病院に搬送する
- ・回復したらリタイアバス・収容バスを案内する

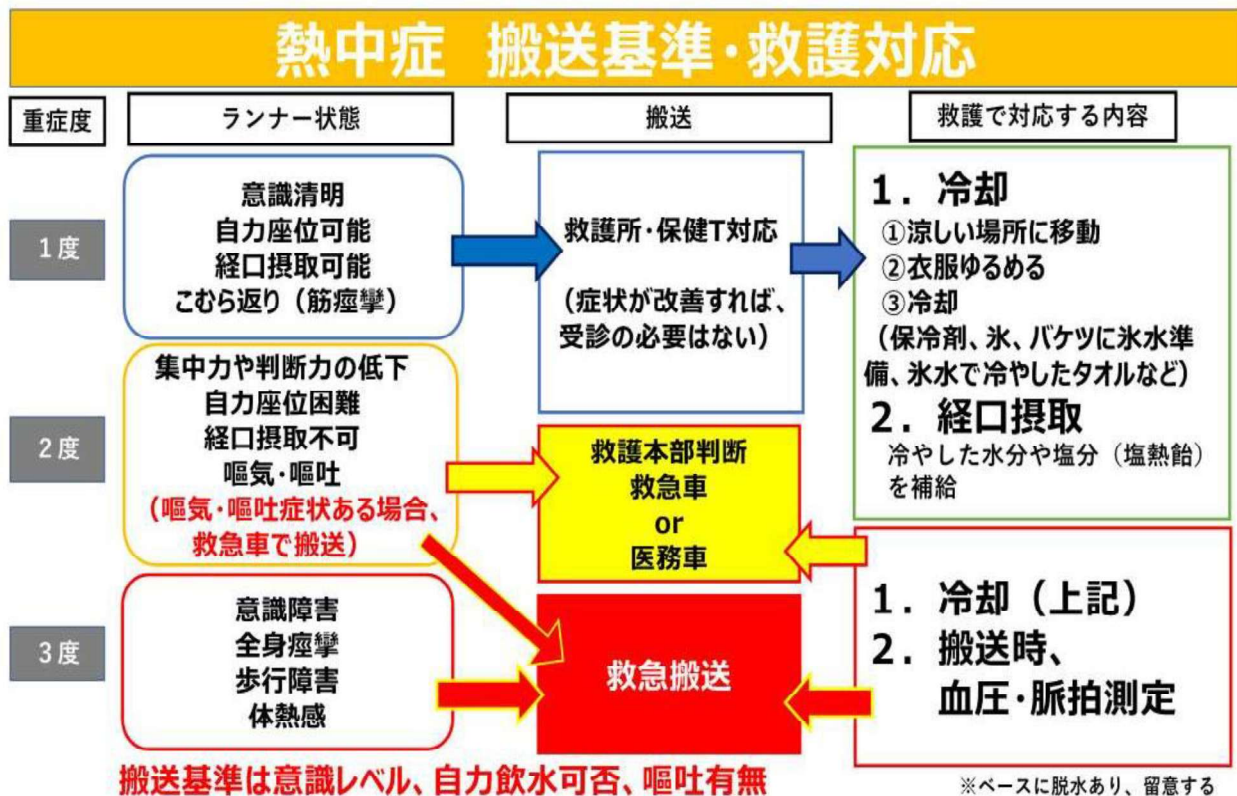
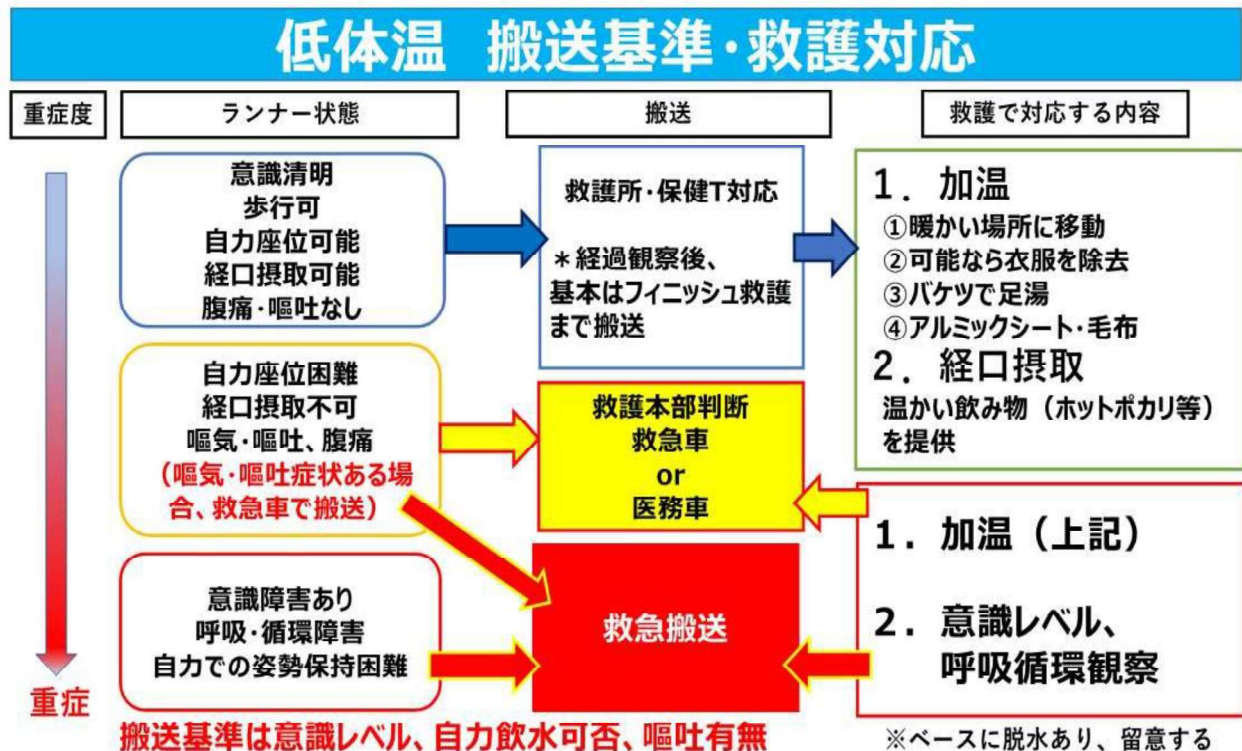
#### ③その他

- ・アナフィラキシー …… バイタル（脈拍数、呼吸数、血圧、体温）をチェック  
→ 30分程度の休養で改善しない場合は救護本部に連絡
- ・ぜん息 …… 休養して改善しない場合は、救護本部に連絡
- ・腹痛、吐き気、おう吐  
・めまい、頭痛  
→ …… 安静 → 休養して改善しない場合は救護本部に連絡
- ・脱水 …… 水・電解質補給
- ・低血糖 …… 糖尿病の既往、内服の既往を聴取し、ブドウ糖キャンディで糖분을補給し安静  
→ 休養で改善しなければ、医師の判断で救急車要請

### （４）疲労のみの場合

- ・椅子または簡易ベッドで休養
- ・休養で改善しない場合は棄権 …… 収容バス・リタイアバスへ

## 搬送基準（救護所・保健チーム）



## 傷病者発生時基本対応 | コース上

※走路上のランナーの異変

【転倒、ふらつき、蛇行、立ち止まりなど、通常の走行と違った状況を発見した場合】

### ■名前を呼んでも返事がない場合

- (1) **ただちに、「119番通報」し、救急車を要請、救護本部に連絡する**
- (2) 安全を確保する（傷病者は走行方向の右に、ランナーは左に誘導する）
- (3) 呼吸をしていないようであれば、AEDを用いた一次救命処置を実施する  
（※ ランナーの口と鼻をマスクで覆ってから処置を行う）  
その際、周囲のスタッフやランナーに協力を依頼する。
- (4) 救急車が到着するまで、アクションカードに従い処置等を継続する

以上の処置を行った上、次の手配をする

- ①救護所から300m以内の場合、救護所に連絡し、医師に来てもらう。
- ②（救護本部は）近くの保健チーム、AEDモバイル隊に連絡し、応援要請を行う。
- ③救急車へは看護師または保健師が同乗し、救護本部へ経過を報告する

#### 「119番通報」時の連絡事項

- 1) とくしまマラソン□□□□（班名）の（氏名： ）です。
- 2) △△km地点付近で傷病者発生。目印としては、（ ）です。
- 3) **最寄りの進入口は（ ）です。**
- 4) 状態は、意識（あり、なし）、自発呼吸（あり、なし）、体動（あり、なし）
- 5) **ナンバーカード□□番、（男、女）性です。**
- 6) 現在、（心肺蘇生・応急処置）中です。  
★ 救急車をお願いします。 ★ 指示をお願いします。

※ ナンバーカードの裏面には、緊急連絡先、既往歴、服薬できない薬が記載。

※処置後、ランナーがフィニッシュ会場へ戻る場合はスタッフが同行する。

そのまま一人で帰宅を希望する場合、交通費等はランナーの自己負担となる。

### ■意識はあるが歩行困難・介助者が必要な場合

- (1) アクションカードに従う
- (2) 必要があれば、医務車を要請する。
- (3) 周囲に協力者がいる場合は、協力を得ながら競技者の希望に添い対応する

#### 救護本部(医務車)連絡先

**090-1111-1111**

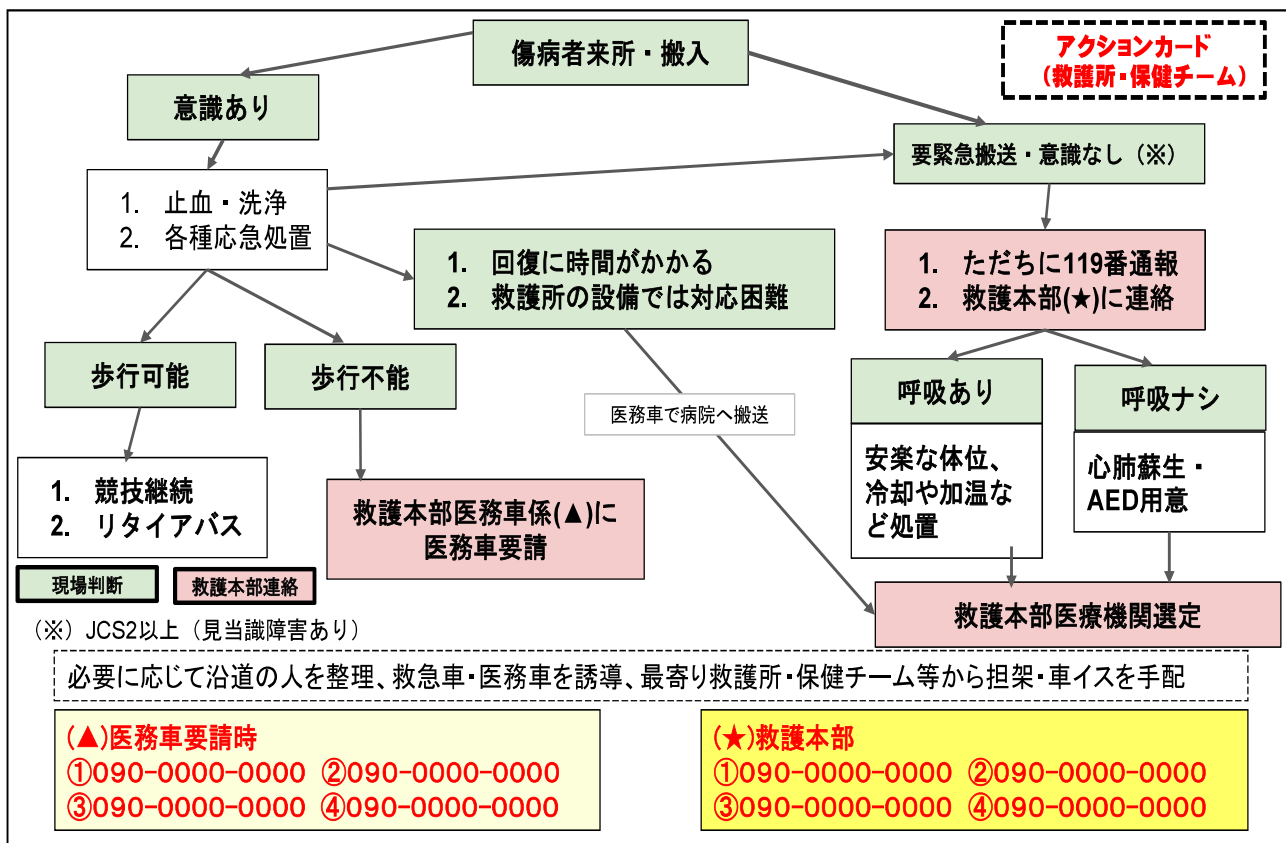
**090-2222-2222**

**090-3333-3333**

**090-4444-4444**

走行可能な場合（ → 救護本部へ連絡は不要 ）

## アクションカード（救護所・保健チーム）



## 119番通報・医務車要請時の連絡事項 （場所、症状、ナンバーカード）

### アクションカード （救護所・保健チーム）

- 1) \_\_\_km救護所、\_\_\_km保健チームの、（氏名： ）です。
- 2) \_\_\_Km地点付近で傷病者発生。目印としては、（ ）です。
- 3) 最寄りの進入口は（ ）です。
- 4) 状態は、意識（あり・なし）呼吸（あり・なし）体動（あり・なし）。
- 5) ナンバーカード 番、（男・女）性です。
- 6) 現在、（心肺蘇生・応急処置）中です。  
・救急車お願いします。 ・指示をお願いします。

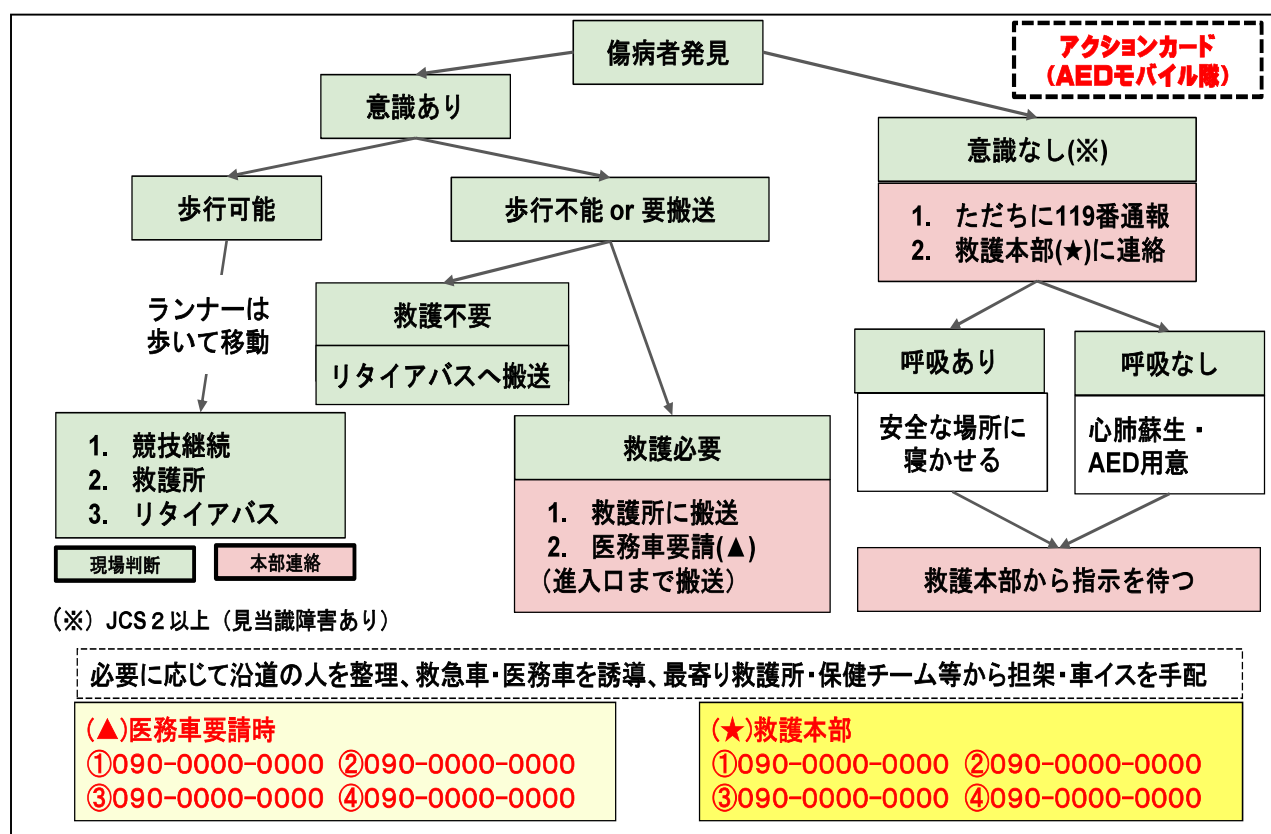
### （★）救護本部

①090-0000-0000  
②090-0000-0000  
③090-0000-0000  
④090-0000-0000

### （▲）医務車要請時

①090-0000-0000  
②090-0000-0000  
③090-0000-0000  
④090-0000-0000

## アクションカード（AEDモバイル隊）



### 119番通報・医務車要請時の連絡事項 (場所、症状、ナンバーカード)

### アクションカード (AEDモバイル隊)

- 1) モバイル隊\_\_班の、(氏名: )です。
- 2) \_\_Km地点付近で傷病者発生。目印としては、( )です。
- 3) 最寄りの進入口は( )です。
- 4) 状態は、意識(あり・なし)呼吸(あり・なし)体動(あり・なし)。
- 5) ナンバーカード\_\_番、(男・女)性です。
- 6) 現在、(心肺蘇生・応急処置)中です。  
・救急車お願いします。 ・指示をお願いします。

**(★)救護本部**

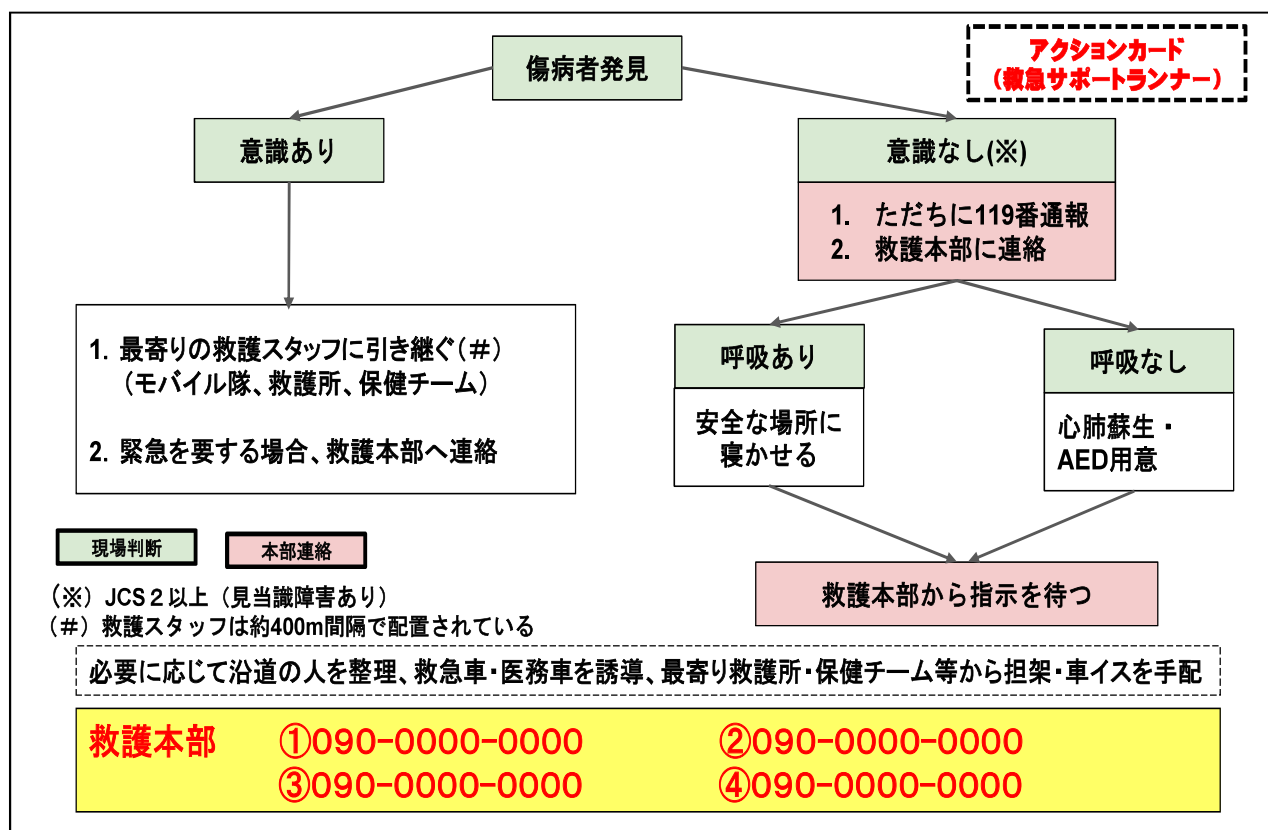
①090-0000-0000  
②090-0000-0000  
③090-0000-0000  
④090-0000-0000

**(▲)医務車要請時**

①090-0000-0000  
②090-0000-0000  
③090-0000-0000  
④090-0000-0000



## アクションカード（救急サポートランナー）



**アクションカード  
(救急サポートランナー)**

**意識のない傷病者の場合**

**ただちに119番通報、その後救護本部に連絡**  
(場所、症状、ナンバーカード)

1) 救急サポートランナーの、(氏名: )です。  
 2) \_\_\_\_Km地点付近で傷病者発生。目印としては、( )です。  
 3) 最寄りの進入口は( )です。  
 4) 状態は、意識(あり・なし)呼吸(あり・なし)体動(あり・なし)。  
 5) ナンバーカード\_\_\_\_番、(男・女)性です。  
 6) 現在、(心肺蘇生・応急処置)中です。  
     ・救急車をお願いします。   ・指示をお願いします。  
 7) こちらの電話番号は\_\_\_\_です。

<b>救護本部</b>	①090-0000-0000	②090-0000-0000
	③090-0000-0000	④090-0000-0000



## 救急車要請時における各所との情報共有について

### ●とくしまマラソン関係通報対応

通報後の 救護本部への 情報共有の流れ	※現場スタッフが通報の場合 (救急車要請) ・現場スタッフ→救護本部 ・消防署→救護本部	※沿道観客が通報の場合 (救急車要請) ・消防署→救護本部
通報時の警察との情 報共有の流れ	通報→消防署→110→徳島県警交通規制課 ※交通規制道路周辺を救急車が通過するため連絡が必要	
緊急時の救急車コー ス進入時の 情報共有の流れ ※右記は、同時並行 を想定	救護本部（医師）→ 救護本部スタッフ → 管轄消防署 → 110 ※医師が意思決定	
	救護本部事務長→沿道統括班（警備会社幹事含む）→現場沿道スタッフ ※救急車が進入するコース付近の沿道スタッフ（警備員等）へ情報共有する必要があるため	
搬送先 共有の流れ	救護本部（医師）→現場トップ（救護所主任・モバイル隊リーダー等） →現場消防署隊員（→救急車と現場警察官により現場対応）	
大会スタッフへの 全体周知の流れ	救護本部→防災無線にて各所へ通達 ①救急車コース進入時 ②搬送完了時	

※防災無線による情報発信は救護本部のみが行う

### ●とくしまマラソンとは関係のない救急車が、 コース付近走行かつ規制区域を走行する必要がある場合

消防署→110→徳島県交通規制課→現場警察官

(→現場沿道スタッフ※必要がある場合、現場警察官の指示に従い行動)

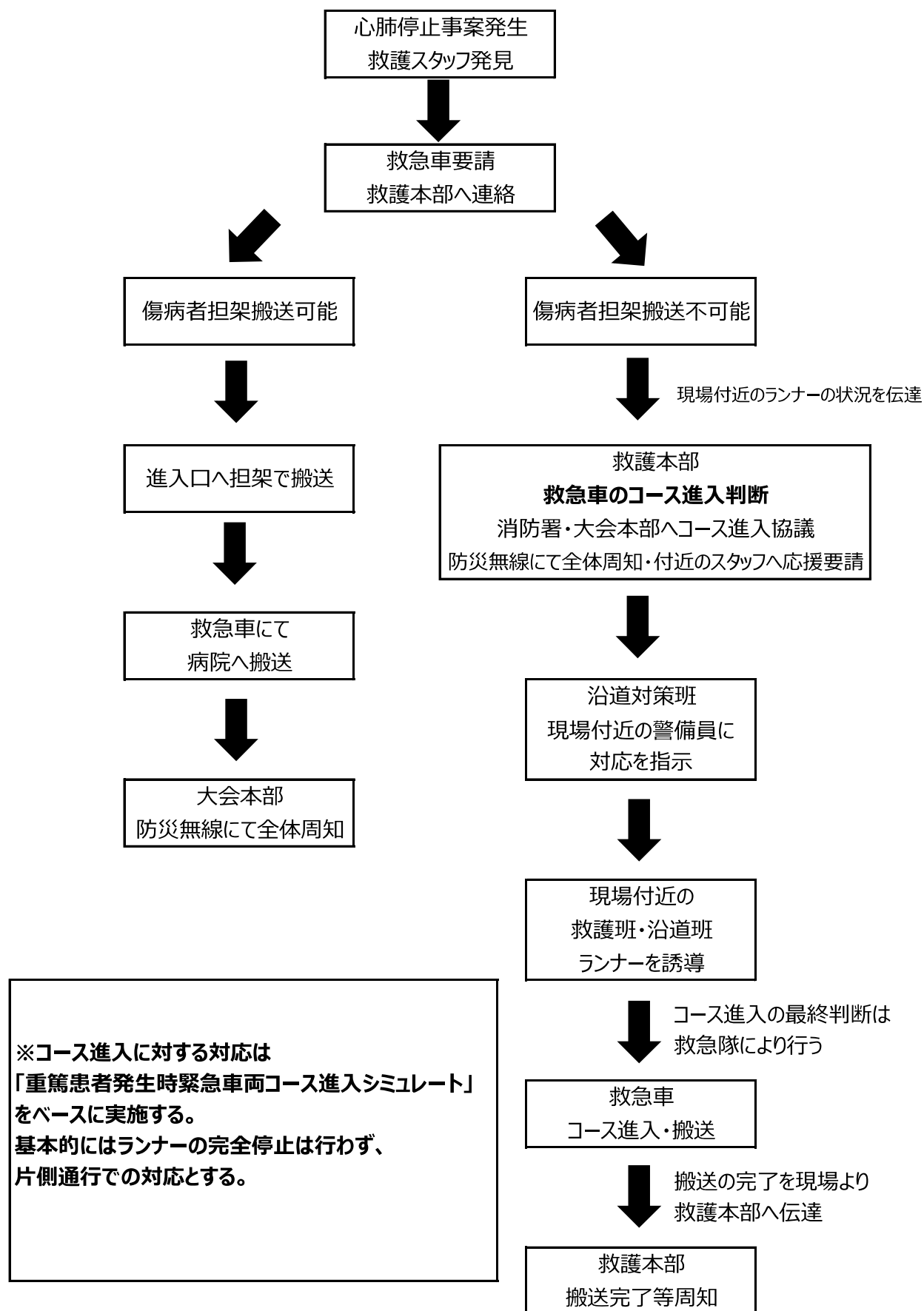
例 救急車のコース進入の場合

コース上に心肺停止の傷病者発見 → 現場で救急車を要請 → 状況はコース外へ搬送不可 → 現場は救護本部へ連絡  
→ コース内へ救急車進入の決定（救護本部）→ 救急車に乗る隊員へ進入場所を伝達  
→ 救急隊は規制道路へ入ることになるため警察へ連絡

救護本部事務局長は救急車のコース進入の決定を把握 → 沿道スタッフトップに伝達

→ コース上の沿道スタッフ（県職員・警備員等）に伝達 → 沿道スタッフは道路安全確保のため現場で救急車を待つ

## 心肺停止等重篤事案発生時フロー



## 重篤患者発生時緊急車両コース進入シミュレート

※基本的にランナーを止めない

①コース上で重篤患者発生、現場へ救護スタッフ到着、ランナーの整理開始・・・A

②現場より救急車要請・傷病者の状況及び最寄りの進入口を伝達  
本部へ連絡、緊急車両のコース進入及び付近の救護スタッフの応援要請

③救護本部にてコース進入判断・大会本部へ伝達

④沿道スタッフを現場へ誘導・救護本部からコース進入の旨消防署へ連絡

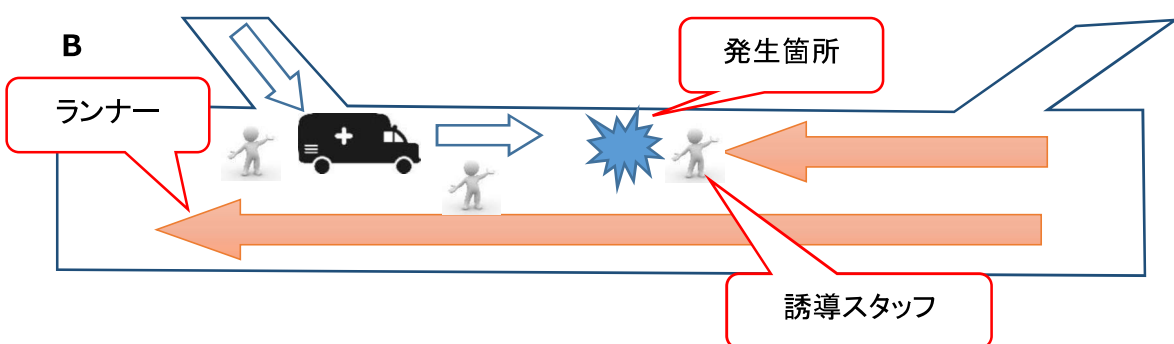
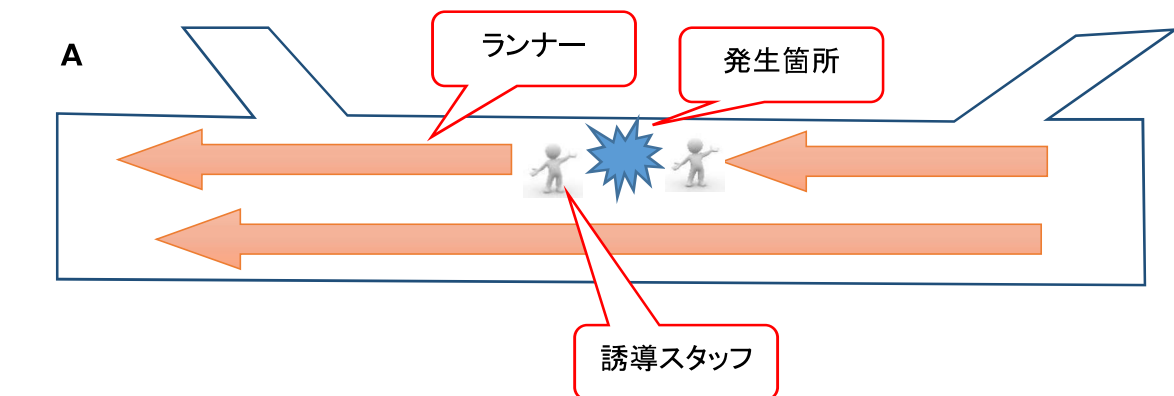
⑤進入口に救急車到着

⑥沿道スタッフと救護スタッフにて救急車の走行路を確保・・・B

救急車と救護スタッフが併走しつつランナーを誘導

⑦患者を救急車へ収容

⑧搬送出口まで救護スタッフが救急車と併走しつつランナーを誘導・・・C



## 吉野川大橋上に救急車が入る場合のランナーストップ

■ 吉野川大橋上で次の事態が生じたら、後続ランナーをストップさせる。救急車をコースに進入させる。

① 心肺停止、意識のない状態のランナーを発見したとき。

② 大勢のランナーによる将棋倒し等が発生したとき。

※ランナーストップ：特定箇所の一時的なレースの中断。再開を見込んだもの。

### ■ ランナーストップのフロー

救護本部	傷病者周辺のスタッフ	ランナーストップをする 交差点周辺のスタッフ (沿道班・AEDモバイル隊等)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>意識がない傷病者を発見 (救急サポートランナー、AEDモバイル隊、沿道スタッフ、他のランナー等)</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>即119番通報</li> <li>通報後、即救護本部に連絡</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>3km保健チームに連絡 →保健師・トレーナーを現場に派遣</li> <li>AEDモバイル隊3に連絡 →全員を現地に集める</li> <li>沿道班にランナーストップ指示 (大会本部駐在)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲のスタッフ・ランナーに協力を求め、心肺蘇生・応急処置を実施</li> <li>後続ランナーを安全に通過させるため誘導</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>沿道班長、救護班長は、現場付近のスタッフにランナーストップを指示</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>実行委員会及び大会全体にランナーストップを報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心肺蘇生・応急処置を継続</li> <li>後続ランナーの誘導を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺の沿道・救護スタッフは、ランナーストップを実施</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急車到着</li> <li>ランナーの停止を確認し、救急車の進入を促す。</li> <li>モバイル隊は、到着を救護本部に報告。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ランナーストップを継続</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>救助完了。救急車出発。</li> <li>モバイル隊は、出発を救護本部に報告。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>レースの再開を指示</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>再スタートを実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>実行委員会及び大会全体にレース再開を報告。</li> </ul>		

- 後続ランナーは複数地点でストップさせる。1か所で停止させると将棋倒しの危険性が高まるため。  
 吉野川大橋南詰(大橋手前の最後の交差点)      北常三島交差点(徳島市民病院の南西)



### ■ランナーを止める方法

- ① 沿道班スタッフは、【ランナーストップ】のパネルを掲げ、  
 トラメガで「緊急事態発生！スピードを落として止まって！」と呼びかけながら、  
 ランナーの前へ入っていく。
- ② スピードが緩んだら、警備員2人がロープを張り、ランナーの走路をふさぐ。  
 - 急に止めることがないように。前方のスピードが緩むと、後方は自然に止まる。  
 - 交差点で止まらなかったランナーは、  
 速やかに現場を走り抜けてもらうか、歩道に上がって救急車の通行を待ってもらう。
- ③ ストップをしている間、ランナーには「救急車通行のためレースを中断。通行後再開する」と説明する。

### ■レースの再開

- ① 救護本部からレース再開の連絡を受ける。
- ② 沿道班・救護班のスタッフが、「レースを再開するときは、ゆっくり走り出してください」とアナウンスする。
- ③ 警備員がロープを撤去し、「スタートします」と発声する。
- ④ 接触事故が起きないかコース上を見守りながら、本来の持ち場に戻る。

## スタッフユニフォーム

### とくしまマラソン2025スタッフユニフォーム

#### 救護部

医師	とくしまマラソン防護衣 + 腕章(医師)
看護師	とくしまマラソン防護衣 + 腕章(看護師)
トレーナー	とくしまマラソン防護衣 + 腕章(トレーナー)
保健師	緑ビブス(保健師)
AEDモバイル隊	赤ビブス(AED・救護)
救急サポートランナー	専用ナンバーカード + 赤ビブス
事務・学生スタッフ	オレンジベスト

#### 総務部・沿道対策部・企画部

県職員	赤ベスト
ボランティアスタッフ	青ベスト



ブルー×ホワイト  
ボランティアスタッフ



レッド×ホワイト  
県職員



オレンジ×ホワイト  
救護班事務



救護所スタッフ  
(医師・看護師・トレーナー)



保健チーム  
(保健師)



AEDモバイル隊  
(リーダー・サブリーダー)



AEDモバイル隊  
(スタッフ)